

目的

- 1 国際交流を通じて、外国の文化や歴史、社会についての理解を深め、異文化共生社会のあり方を考える契機とする。
- 2 異文化や異国の人々の考え方に触れることにより、自国を見つめ直し、我が国の文化と伝統を大切にする態度を育成する。
- 3 国際語である英語の実践的コミュニケーション能力を高め、併せて国際社会に貢献できる有為な人物を育成する。

実施内容

- 日 時 令和7年10月14日(火)～24日(金) 11日間
- 方 面 イギリス ロンドン周辺
- 参加者 19名(1年次16名、2年次3名)

ロイヤルラッセル高校との学校間交流

ロイヤルラッセル高校では、日本語を教えている教員の案内により校内施設を見学。その後、日本語の授業を選択している現地の生徒とともに授業に参加し、交流を深めることができた。昼休みには、図書室に集まった教員や生徒を対象に、事前に準備した南アフリカおよびベトナムに関する英語によるプレゼンテーションを行い、併せてよさこい踊りを披露した。また、模擬国連の事前研修として、担当教員および生徒から模擬国連全体の進行やルール、スピーチの構成や発表方法について実践的な指導を受け、有意義な学びを得ることができた。

現地での研修内容

ロイヤルラッセル高校での交流

イギリス到着翌日にロイヤルラッセル高校を訪問した。日本語を学ぶ現地生徒といっしょに授業に参加しながら、交流を深め、ランチタイムでは、代表国であるベトナムと南アフリカに関するプレゼンテーションを行い、その後よさこいを披露して会場を盛り上げた。



ラッセル高校での交流

模擬国連 第1日目

各委員会に分かれてデリゲートが政策方針 (Policy Statement) を発表した。自国の立場を明確に示すと同時に、他国の意見を理解しながらロビー活動を行い、決議案 (Resolution) に修正を加えて提出した。



ロイヤルラッセル
スクールの中庭にて

模擬国連 第2日目

各委員会で終日セッションが行われ、高度でテンポの速い英語による議論が続いた。内容理解に苦む場面も多かったが、英語で発言することへの心理的な壁を越えようとする成長が見られた。



ブレスチーム

模擬国連 第3日目

総会および安全保障理事会が開催された。生徒たちは国の代表団の一員として議論に積極的に参加し、他国の意見に応答しながら自国の主張を展開することができた。



アンバサダースピーチ

ロンドン市内・周辺研修

各自が事前に設定した研究テーマに基づき、ロンドン市内および近郊を巡りながらテーマ研究を行った。ウィンザー城では、英国王室の長い歴史や伝統に直接触れ、建築様式や城が果たしてきた役割について理解を深めることができた。大英博物館では、世界各地から集められた文化財を通して、人類の歴史や文明の発展を多角的に学ぶ機会となった。現地の大学生による案内でグループごとに市内観光を行い、異文化理解を深める貴重な経験となった。



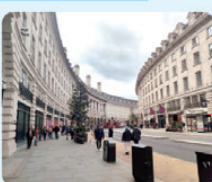
ウィンザー城



大英博物館

オックスフォード大学訪問

歴史ある石造りの建造物が立ち並び、重厚で荘厳な雰囲気圧迫された。美しい中庭や図書館を含むキャンパスは静かで落ち着いており、学問に集中できる環境が整っていた。また、周辺の学生街には書店やカフェが多く、学生が交流しながら学ぶ姿が印象的だった。



オックスフォードの街並み



名門オックスフォード大学

事前・事後研修

事前研修として、5月から約5か月間(週1～2回程度)、英語研修およびテーマ研究に関する研修を実施した。7月30日から31日の2日間、福島県にあるブリティッシュヒルズにおいて英語研修に参加した。研修では、批判的思考力を高めるための講座(The RAVEN Method)を受講し、物事を論理的かつ客観的に英語で伝える方法を学んだ。また、情報や発言の信頼性を評価するため、グループで批判的分析を行い、具体的な事例をテーマにRAVENのフレームワークを用いてファイナルディベートに挑戦した。事後研修としては、各自が個人テーマ研究をまとめ、研修報告書を作成した。さらに、本校の高校1・2年次生を対象に事後報告会を実施し、研修を通して得られた成果と今後の課題について発表を行った。

参加者からのメッセージ

岡田 芽咲

2年次

豊浦中出身 英語部

私は英語を学ぶことが好きで、いつしか将来国際的な仕事に就きたいと考えるようになりました。自分を成長させるため、自分を変えたいという思いからイギリス海外研修に申し込みました。私にとって参加すること自体大きな挑戦であり、勇気のいる決断でした。研修中は自分の英語力や積極性のなさに悩みました。しかし、積極的な仲間と関わる中で、次第に自分から行動できるようになり、さらに英語が通じた経験が自信に繋がりました。現地では、見るもの経験することすべてが新鮮で、多くの学びを得ることができました。模擬国連ではブレスチームとして日本文化の記事を作成し、日本を紹介しました。仲間と支えあい苦楽を分かち合った11日間はかけがえない経験です。次は皆さんの番です。迷っているなら1歩踏み出してほしいと思います。ぜひ日立一高で海外研修に参加し、自分を大きく成長させるチャンスを手に入れてください。

